

リモート実食訓練

本邦初

日本災害食学会 2024年度学術大会 ランチョンセミナーイベント



備えを使って

災害時と同様な
方法で

一食全部食
べてみよう

7月6日(土)

昼12:00~13:10

みんなで一斉に災害食を考えよう

リモートでみんな一緒に

対象：日本災害食学会員 ほか

実食訓練のメリット

備蓄品の食品ロス防止
調理法、衛生管理の確認
量・品質の確認
準備、片付けの確認
備品・食器の確認

災害時の活動は？

避難所に避難
自宅で避難生活
災害ボランティア
BCPに従事

改善しますか？

温め方を見直す
量を見直す
満足を見直す
準備、片付け方を見直す

食べずに備蓄だけしていても大丈夫？

申し込み先：

<https://forms.gle/NQvxtG4BFhQVyZbR9>

日本災害食学会
2024学術大会実行委員会



- *電気・ガス・水道を使わずに
- *一食全部を食べる
- *満足度、腹持ちを知る
- *改善する

問い合わせ先：E-mail jikkou2024@telepac.jp

日本災害食学会 2024 年度学術大会 ランチョンセミナー プレイベント

本邦初 「リモート実食訓練」

事前に食べることは大切な備え

開催趣旨

大災害では道路が寸断し物流が停止するため、災害前からローリングストックなどの方法で災害時の食を備えることは大切です。さらに災害発生後は電気、ガス、水道などが途絶することが多く、食品・食器の洗浄、調理、後片付けなどができなくなります。このため、事前に体験型学修しておくことは大切です。実食訓練では、準備から喫食、後片付けまで、参加者が災害時の生活を想定して体験します。食品だけでなく、ライフライン代替の備えやそのバランスなども事前に確認し、見直しに活かしましょう。

この度のリモート実食訓練は、日本災害食学会 2024 年度学術大会（8月25日）で行われる「災害食を食べるランチョンセミナー」のプレイベントとして開催します。このプレイベントの結果は、学術大会で報告するとともに、新しい防災の取り組みとして発信することも検討中です。ぜひ初のリモート実食訓練にご参加ください。

■日時 2024年7月6日（土曜）昼 12:00～13:10

■方法 オンライン開催（各自の自宅や職場から ZOOM でご参加ください）

■対象 日本災害食学会会員 ほか

■準備するもの 参加費は無料。昼食として各自がストックしている災害食を準備ください。
また、「停電、ガス供給停止、断水状態」と想定して実施いたします。

■ファシリテーター 別府 茂（2024 学術大会 実行委員）

■内容

1. 12:00～12:10 趣旨説明（ZOOM）

訓練の条件設定（想定）

- ① 前日の夜に大規模地震が発生、電気・水道・ガスなどのライフライン、物流停止中
- ② 自宅は壁にひび割れなどの被害あるが、居住可能と思われる
- ③ 「被災翌日の昼食」を想定した食事を各自が準備し、1食を全部食べる

2. 12:10～12:40 参加者は各自で、自宅や職場で食事を準備し、食事する
食事の終わった方から、各自の試食訓練の様子をリモートで共有する

3. 12:40～13:00 解説 PPT「実食訓練 知っていますか」（ZOOM）
食べながらの参加でも大丈夫です

4. 13:00～13:10 アンケート

■ 申し込み先 : <https://forms.gle/NQvxtG4BFhQVyZbR9>



上記 HP または QR コードからお申込みください。
申し込まれた方に後日、詳細をご連絡します。

主催：一般社団法人 日本災害食学会 2024 年度学術大会実行委員会
共催：新潟大学 地域連携フードサイエンスセンター

問い合わせ先：E-mail jikkou2024@telepac.jp